

令和5年度 努力点推進計画について（案）

1 推進テーマ

分かった！できた！もっと！であふれる伊勝っ子
～子どもたちの学び合う力を引き出すために～

2 研究主題設定の理由

(1) 今日の課題から

名古屋市では、学校を子どもがいきいきと活動できる場所とし、一人一人の子どもを大切に
した教育活動を実現することを目指している。そこで、学習指導要領に示された資質・能
力の育成を着実に進めるためには、新たに学校に置ける基盤的なツールとなるICTを最大
限に生かしながら、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」
と子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図る必要が
ある。

令和4年度は、「分かった！できた！もっと！であふれる伊勝っ子～タブレットを使った効果
的な学習方法の模索」をテーマに取り組んだ。学習者用タブレットを、効果的に使うことで子ど
もの「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の育成を目指した授業づく
りをしてきた。各教科における学習場面において、情報の共有し、学びを深めることに活用する
ことができた。しかし、情報の共有だけでは、学びが深まりきらないため、「協働的な学び」を
行う場面を増やし、更に学びを深める必要を感じた。

そこで、令和5年度は、ICTを最大限に生かしつつ、「協働的な学び」を推進するために
「学び合い」に重点を置く。「学び合い」とは、「子ども同士の協働により自己の考えを広げ
深めていく対話的な学びのこと」である。

子どもが学び合いをすることで、子ども同士で考えの共通点や相違点をまとめ・整理した
りすることで新たな学びにつなげることができると考える。「協働的な学び」を授業の中に効
果的に取り入れることで、子どもは仲間との対話を通して、自分の考えを他者に伝えたり、
他者の考えに気付いたりするとともに、自分の考えを広げ深めることができるようにしてい
きたい。

(2) 本校の学校教育目標から

本校では、「正しく、仲よく、力いっぱい」を校訓として掲げ、

- 自分の考えをもつことができる子
- 相手の立場に立って考え行動できる子
- 健康で安全な生活ができる子

の育成を目指している。これは、名古屋市の目指す、学校を子どもがいきいきと活動できる
場所とし、一人一人の子どもを大切にした教育活動を実現することに密接に結びつくもので
ある。

この学校教育目標の知にあたる「自分の考えをもつことができる子」を具現化するために、
学びあいを支える教師の支援が必要であると考えます。

(3) 児童の実態から

本年度は、名古屋市学校教育の努力目標である「ともに学び 自分らしく生きる」の令和5年度重点項目の「学び合い」の視点から、授業内容を工夫することで、児童の「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を育てていきたいと考える。各教科において、子どもたちの学び合う力を存分に引き出し、子ども同士が互いに学び合い、分からないことを互いに聞き合い自発的に学習し、学びを深めることができるようにしていきたい。

3 推進の方法

(1) 授業実践について

- 学級担任は一人一授業実践を行う。
- 教科については、どの教科でもよい。
- 学年で、実践が前期（4月～9月上旬）と後期（10月～1月末）に分ける。
- 実践日は、実践月の初めに教務・努力点推進委員長に申し出て決定する。

基本、月・木曜日の2・3限。

（時期が集中しないようにする。特に学期末）

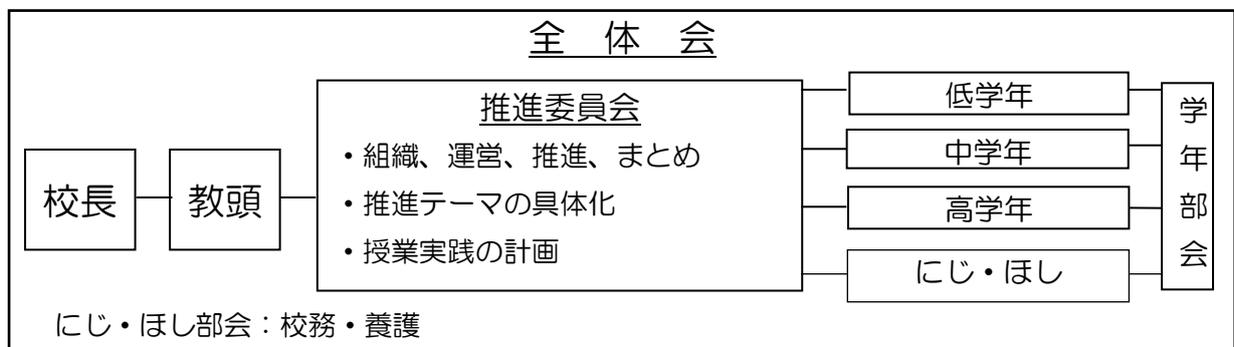
教務は校長の予定を確認する。

- 実践は、子どもの実態に合わせて、各部会と努力点推進委員長と副委員長で事前検討シートを使って検討する。（実践の一週間前を目安に）
- 指導案は、細案または略案とする。特別支援学級は、親学級に入って授業実践を行ってもよいが、個別の支援計画案などを作成する。授業前日の朝までに配付する。
- 事前検討会：各部会＋推進委員長（司会）と副委員長
事後検討会：各部会＋教務（司会）
- 実践授業は、部会の職員と希望する職員、教務主任、推進委員長、副委員長が参観する。

(2) まとめについて

中間まとめと最終まとめの2回、手立てと子どもの変容を中心にまとめる。

(3) 推進組織について



(4) 年間計画

4	・主題の決定と推進のための組織づくり（推進委） ・主題の決定と推進のための組織づくり（全体会）	
5	・各学級・学年の推進計画立案（学年部会） ・各学級の授業実践（各学級）	
6		
7	・中間報告会のもち方の提案	
8	・先進校への視察、資料の収集（個人）	
9	・中間報告会（全体会）	
10	・各学級の授業実践（各学級）	
11		
12	・最終報告会のもち方の提案（全体会）	
1		
2	・本年度努力点の反省（各学級） ・最終報告会（全体会）	
3	・次年度の努力点推進の計画（推進委）	

(5) 検討会流れ

